

特集 ■ あすのエンジニアをつくる  
精密機械工学科

日本大学工科校友会

1966 46

桜

工



### 若きエンジニア

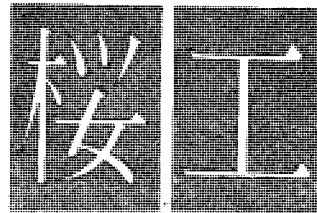
しうかのひいするくにこそわがそこくそ  
 のなをばにいてそびゆわがほこうのび  
 ゆくにほんのちからはここにちを  
 ひらきゆくものわがきエンジニア

堀内敬三 作詞作曲

- 1 昭渙の日出づる国こそわが祖国  
其の名をば担いて聳ゆわが母校  
伸びゆく日本の力は茲に  
地を拓き行く者若きエンジニア
- 2 青春に夢あり宇宙に真理あり  
現実と理想を結ぶもの我等  
科学の力と不屈の意志を  
武器として進まん若きエンジニア

### 日本大学の目的 および使命

1. 日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしなひ、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。
2. 日本大学は、広く世界に知識をもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。



日本大学  
 工科校友会誌  
 1966  
 VoL. 12  
 No. 46

### 特集・あすのエンジニアをつくる

精密機械工学科 ..... 5

● 設立のねらい ..... 木村秀政 ... 5

● 座談会 わが科のすべて ..... 6

木村秀政, 伊藤堅, 梶原正夫, 酒井彦四郎, 吉田義之, 中込悟, 足立英三郎,  
 (司会) 石塚武

機械と電気を結びつける/産業界は求めている/知ってほしい精密機械/ここに1つアナがある/就職はますます好調/まじめ過ぎるくらいな学生/緊密な師弟の触れ合い/生活環境しだいに整備/一流企業に劣らぬ精密測定室/飛行場を持っている学校/基礎に重点おく教科内容/むすびにかえて

● 技術の調和... 足立英三郎(7)/精密測定とは... 石塚武(8)/制御の未開地... 伊藤堅(9)/私見の一端... 酒井彦四郎(10)/自動機械と計測... 松代正三(11)/▽とS... 梶原正夫(12)/苦言... 吉田義之(13)/機械工作について... 中込悟(14)

### 揺籃期の人びと 3 竹村勘吾先生

稔健さと強靱さ/語る人 西 彪雄先生... 23

● 各校舎でまじめな学祭 ..... 18

● 41年度の学術講演会ひらく ..... 27

### 部会だより

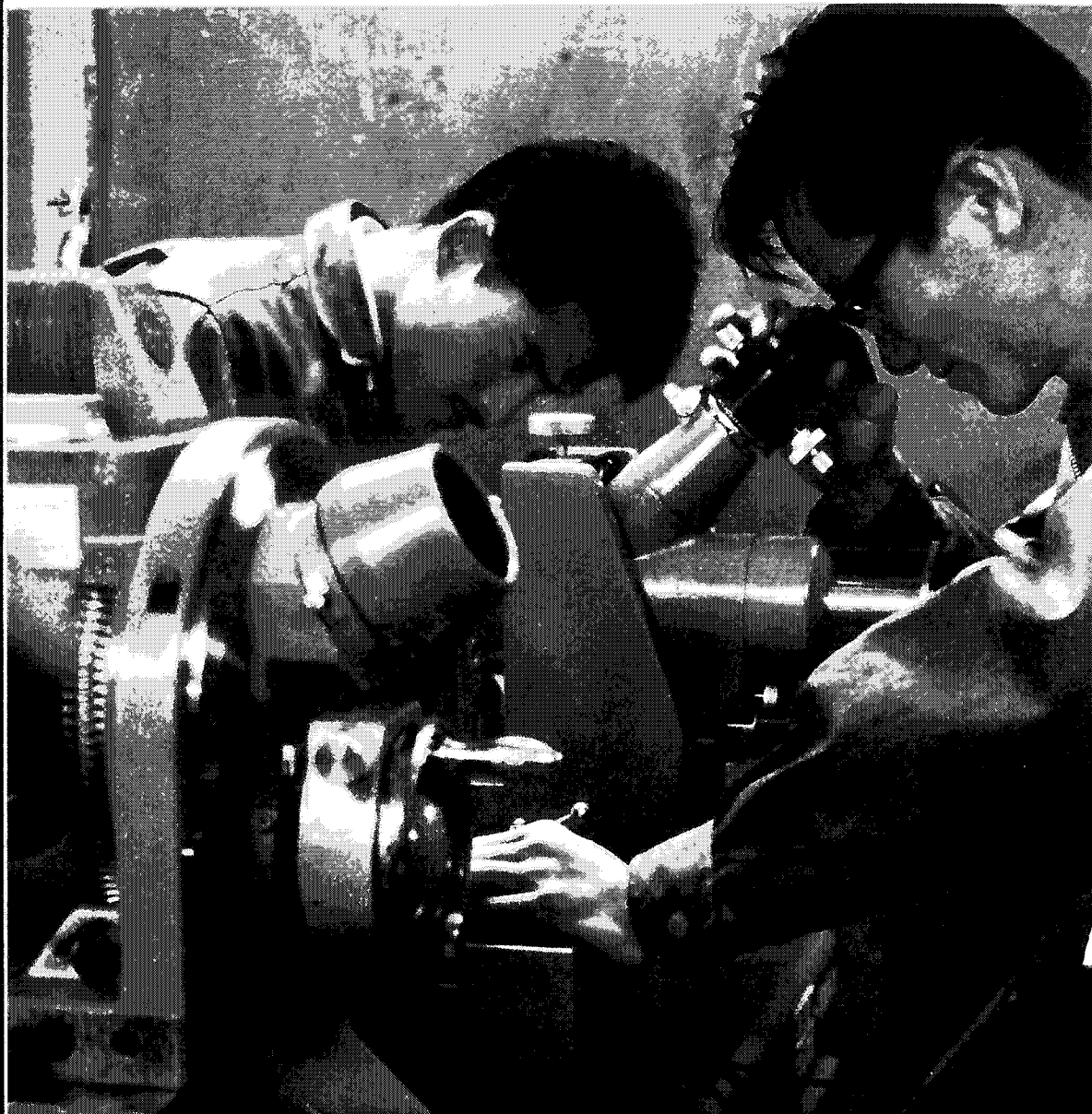
土木・建築(29) 機械・電気(30) 化学・薬学(31)  
 工経・交通, 精密(32)

● 支部だより/茨城県支部秋季総会, 都建設局支部  
 総会 ● 会会だより/昭九会総会 ● 校友短信

● 雑記帳/名取康提供・K

● グラビア あすのエンジニアをつくる/学祭  
 ひらく

● 表紙 精密機械工学科1年生の工作実習



## あすのエンジニアをつくる

機械と電気を結びつけて、産業界が要望するあたらしいエンジニアを育成する日大の精密機械工学科は、習志野の静かな土地に近代的な校舎をつくり、さまざまな新鋭機器を設備し、教授陣をととのえ、ここをみざすすぐれた学生を待望している。

**精密機械工学科**

等を審議決定し、新役員を下記のように選任した。引続き懇親会にうつり、先輩後輩の間で談笑がはずんだ。最後に「若きエンジニア」を合唱し、母校の万才を三唱して盛會裡に会を閉じた。

当支部は会員約900名を擁する大組織で、各職場に分会をつくっている。建設局ならびに区役所には部長クラスが17名、課長クラスは50数名おり、都建設行政の中核として活躍している。

(下青木記)

▶支部長協田嘉夫▶副支部長原田幹男、力石鎮男、福沢将▶会計監査松本新太郎、山形隆雄、市ヶ谷金兵衛▶事務幹事下青木秀吉▶庶務会計林肇、時吉徹、内山貢

### 『連子(れんじ)』記念号を発行

建築学教室から出されている「連子」は、このほど創刊10周年記念号を発行した。32年7月に創刊してから10年。戦前、戦中、戦後を語る「私の学生時代」座談会「後進に望む」などを特集している。98ページ

### 昭九会で総会ひらく

学土昭和9年卒業者の昭九会では11月2日、東京神田の朝き里で第4回総会を開き、今後もうっそう親睦を重ねていくことなどを申し合わせた。出席者はつぎのとおりである。

(神山記)

### 東京都建設局支部総会

東京都建設局支部では10月18日に理工学部5号館のグリーンハウスで支部総会を開いた。

当日は会員100余名に本部から木田会長、遠藤副会長、高木事務局長、学校側から小野竹之助土木部会長が出席。開会に先立って小野部会長のあいさつ、協田支部長の開会の辞に次いで議事に入り、決算案、予算案

■会誌委員/委員長名取康(化学)/土木・下青木秀吉(副委員長)、篠本勝美/建築・安藤三郎、井出好昭/機械・青木顕一郎・両角豊志/電気・篠原博(副委員長)、高橋信夫/化学・大塚喜作、黒沢喜久雄/工経・三浦智徳/薬学・山内盛、戸塚淳逸

■昭和41年12月10日印刷/25日発行

■編集兼発行人/高木政司

■発行/日本大学工科校友会(東京都千代田区神田駿河台1の8/電話東京293-3251内線206/振替・東京162710)

■印刷/本文・鉄鋼新聞社印刷部、グラビア・和喜グラビア

## 寄稿歓迎

### 会誌委員会

本誌に校友からの寄稿を歓迎します。本誌は年4回、3、6、9、12月に発行され、校友会費を納入している会員、全国各地支部、学生、その他関係方面へ配布されています。本誌ではとくに地方在住の各科の校友からの寄稿を歓迎します。応募のきまりは次ぎのとおりですから、どしどし寄稿して下さるようお願いします。

締切 とくに設けません。発行予定日は各月1日、その1ヵ月前に届いた分は収掲できます。ただし、編集の都合により次回へまわることもあります。

枚数 200字詰18枚以内。横書き。表や写真はこの中に含みません。付記\*本誌は校友の親睦、交流を第1の目的にしていますので、学術研究論文は歓迎しません。けれどポピュラーサイエンスは別です。

\*原稿にはあなたの写真を付け、卒業年次(または回数)住所、氏名、勤務先を明瞭に書いてください。

\*掲載分には薄謝を呈します。

原稿の送り先

東京都千代田区神田駿河台1-8日本大学工科校友会会誌委員会